

# 2024年3月期 第1四半期決算説明資料

証券コード：5332

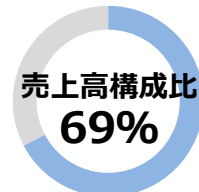
TOTO株式会社

2023. 7.31

# はじめに TOTO事業概要

## 日本住設事業

- ◆ 100年に渡り築き上げた基幹事業
- ◆ 水まわりの住宅設備を製造・販売
- ◆ 新築需要に依存しない経営体質の転換を目指し、30年近くにわたり、リフォーム需要を創出



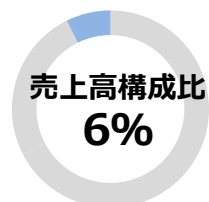
## 海外住設事業

- ◆ ウォシュレット・節水便器を軸にした成長ドライバー
- ◆ 中国大陸、アジア・オセアニア、米州、欧州において事業推進し、その国・地域にとって必要な存在になることを目指す



## 新領域事業

- ◆ 年々存在感を増す3本目の柱
- ◆ 水まわりで培った技術やノウハウを半導体分野にも活用
- ◆ 半導体やフラットパネルディスプレイの製造装置向けのセラミック商品を展開



**2024年3月期 第1四半期 決算**

## 増収減益

### 日本住設事業：増収減益

- ◆底堅い住宅リモデル需要に加え価格改定効果により増収も、外部調達コスト増や、新築住宅・パブリックリモデル売上減影響等により減益。

### 海外住設事業：増収赤字

- ◆中国大陸事業は、不動産市況低迷の影響が大きく減収減益。
- ◆アジア事業は増収も、台湾地域、ベトナムの市況悪化および各生産拠点の減産影響等により減益。
- ◆米州事業は増収も、市況低迷に加え、減産影響等もあり赤字。

### 新領域事業：減収減益

- ◆半導体市況低迷の影響を受け減収減益。

	2022年度 1Q	2023年度 1Q	前年差 (前年比)	為替 影響額	為替影響除 前年差 (前年比)	計画	計画差 (計画比)
売上高	1,535	1,566	+31 (102%)	+37	▲6 (100%)	1,585	▲19 (99%)
営業利益 【営業利益率】	102 【6.7%】	40 【2.6%】	▲62 (39%)	▲0	▲62 (39%)	39 【2.5%】	+1 (103%)
経常利益	154	93	▲60 (61%)	▲3	▲57 (63%)	50	+43 (187%)
親会社株主に 帰属する 四半期純利益	105	57	▲48 (54%)	▲3	▲45 (57%)	34	+23 (168%)

## ■ 為替レート (期中平均)

	2022年度 1Q	2023年度 1Q
1ドル	116.3円	132.4円
1元	18.3円	19.4円
1ユーロ	130.4円	142.2円
1台湾ドル	4.2円	4.4円
1ドン	0.0051円	0.0056円

增收減益。

# セグメント別業績

単位：億円

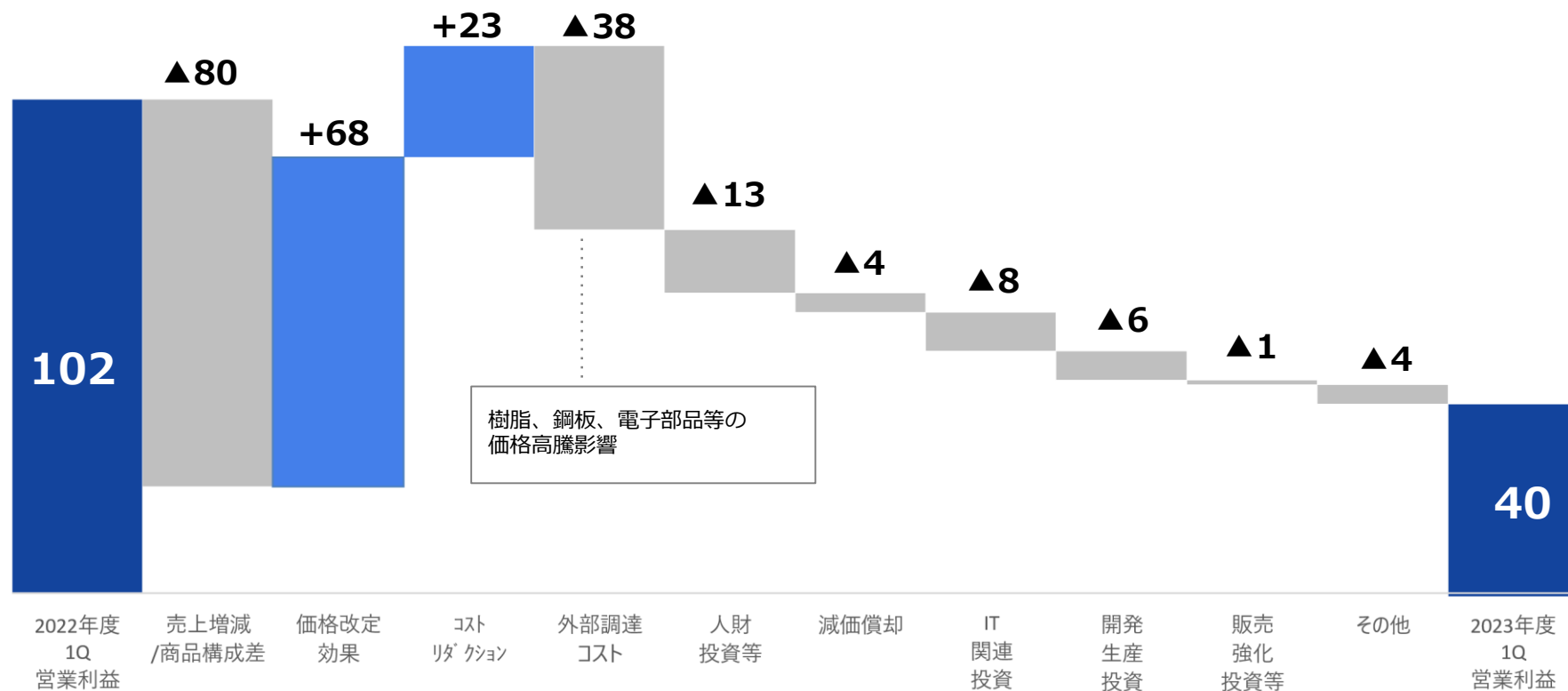
<売上高>	2022年度	2023年度	前年差 (前年比)	為替 影響額	為替影響除 前年差 (前年比)	計画	計画差 (計画比)
	1Q	1Q					
日本住設	1,033	1,076	+42 (104%)		+42 (104%)	1,100	▲24 (98%)
海外住設	390	396	+6 (102%)	+31	▲25 (94%)	395	+1 (100%)
新領域	111	94	▲17 (85%)	+6	▲23 (79%)	90	+4 (104%)
その他	1	1	+0	+0	+0	1	+0
合計	1,535	1,566	+31 (102%)	+37	▲6 (100%)	1,585	▲19 (99%)

<営業利益>	2022年度	2023年度	前年差 (前年比)	為替 影響額	為替影響除 前年差 (前年比)	計画	計画差 (計画比)
	1Q	1Q					
日本住設	28	20	▲9 (70%)		▲9 (70%)	20	▲0 (99%)
海外住設	30	▲1	▲31	▲0	▲31	0	▲1
新領域	49	26	▲23 (54%)	▲0	▲23 (54%)	25	+2 (107%)
その他	▲5	▲5	▲0	+0	▲0	▲6	+1
合計	102	40	▲62 (39%)	▲0	▲62 (39%)	39	+1 (103%)

日本住設事業は増収減益、海外住設事業は増収赤字。  
新領域事業は減収減益。

# 全社営業利益の増減要因

単位：億円



計画差	▲13	+6	+3	+5	▲0	+0	+0	+0	+0	▲0	+1
-----	-----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----

**住設事業における価格改定効果があったものの、一部商品の販売減や、各生産拠点の減産・外部調達コスト等の影響が大きく減益。**

## ■ リモデル

	2022年度 1Q	2023年度 1Q	前年差 (前年比)
売上高	684	731	+46 (107%)
営業利益	25	24	▲1 (97%)
営業利益率	4%	3%	▲0pt

## ■ 新築

	2022年度 1Q	2023年度 1Q	前年差 (前年比)
売上高	349	345	▲4 (99%)
営業利益	3	▲4	▲8
営業利益率	1%	-	-

リモデルは、底堅い住宅リモデル需要に価格改定効果も加わり増収。  
新築は、新築住宅が着工戸数減影響により減収。



# 日本住設事業：商品別業績

単位：億円

	売上高			営業利益		
	2022年度 1Q	2023年度 1Q	前年差 (前年比)	2022年度 1Q	2023年度 1Q	前年差 (前年比)
衛生陶器	215	218	+3 (101%)	13	6	▲7 (48%)
温水洗浄便座 「ウォシュレット」	230	221	▲10 (96%)	21	12	▲9 (57%)
水栓機器	195	203	+8 (104%)	▲8	▲2	+6
浴室	251	285	+34 (114%)	▲4	7	+12
キッチン・洗面	112	119	+7 (106%)	▲2	▲1	+1
その他	30	30	+1 (102%)	9	▲3	▲12
合計	1,033	1,076	+42 (104%)	28	20	▲9 (70%)

浴室は、需要伸長を追い風に底堅く伸長。  
ウォシュレットは、昨年の供給回復の反動等により減収。

# 海外住設事業

単位：億円

売上高	2022年度 1Q	2023年度 1Q	前年差 (前年比)	為替影響額		計画	計画差 (計画比)
				為替影響額	為替影響除 前年差 (前年比)		
中国大陸事業	166	165	▲1 (99%)	+9	▲10 (94%)	166	▲0 (100%)
アジア事業	84	86	+2 (102%)	+5	▲3 (96%)	85	+1 (101%)
米州事業	124	131	+7 (106%)	+16	▲9 (93%)	130	+1 (101%)
欧州事業	16	14	▲2 (90%)	+1	▲3 (82%)	14	+0 (101%)
合計	390	396	+6 (102%)	+31	▲25 (94%)	395	+1 (100%)

営業利益	2022年度 1Q	2023年度 1Q	前年差 (前年比)	為替影響額		計画	計画差 (計画比)
				為替影響額	為替影響除 前年差 (前年比)		
中国大陸事業	12	3	▲9 (28%)	+0	▲9 (25%)	4	▲1 (85%)
アジア事業	15	1	▲14 (6%)	▲0	▲14 (6%)	1	▲0 (92%)
米州事業	5	▲2	▲6	▲0	▲6	▲1	▲1
欧州事業	▲2	▲3	▲1	▲0	▲1	▲4	+1
合計	30	▲1	▲31	▲0	▲31	0	▲1

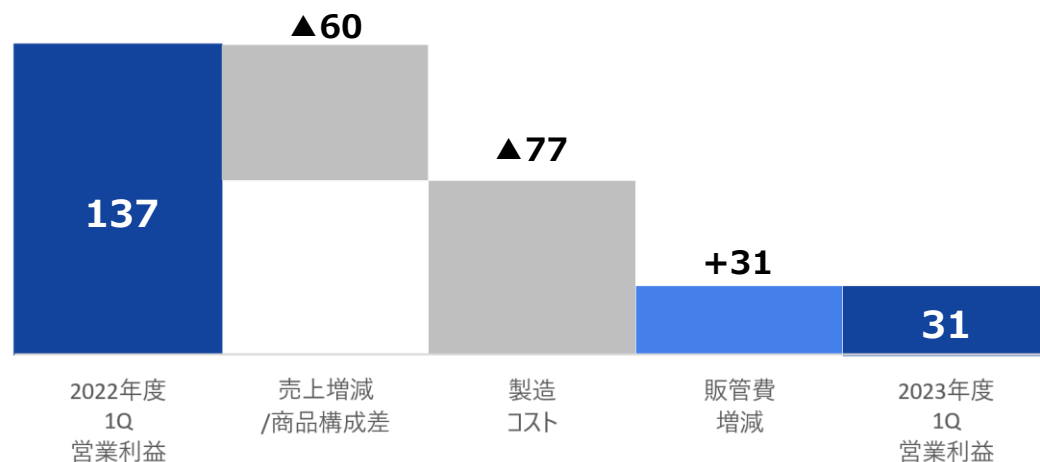
海外住設事業全体で増収赤字。

## ■ P / L ※連結調整、共通費の配賦等は含まないベース

	2022年度 1Q	2023年度 1Q	前年差 (前年比)
売上高	906	853	▲54 (94%)
営業利益	137	31	▲106 (23%)
営業利益率	15%	4%	▲11pt

2023年度\_2Q(2023年\_4月～6月)の売上高伸長率：前年比 118%

## ■ 営業利益の増減要因

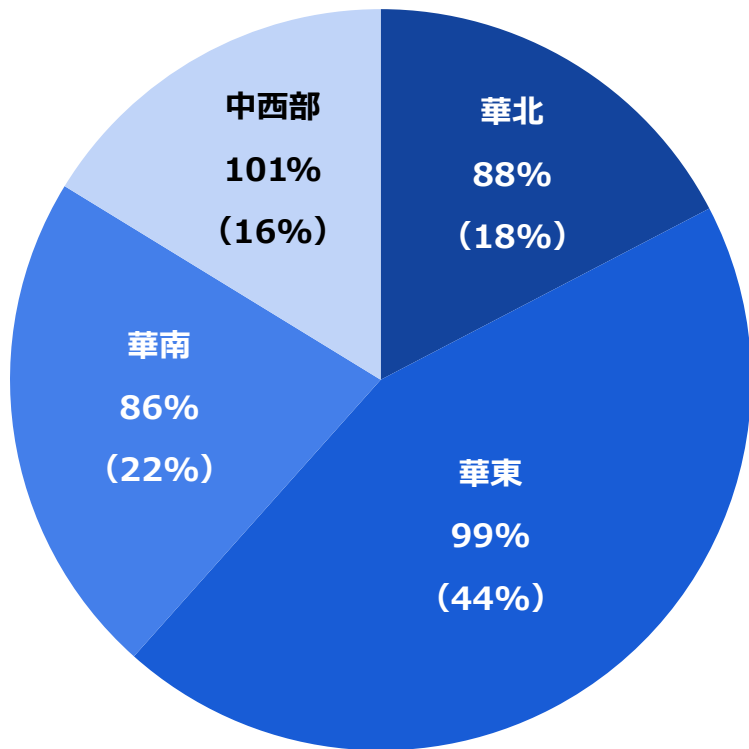


不動産市況低迷の影響が大きく減収減益。

# 中国大陸事業

## ■ 地域別の売上高伸長率（構成比）

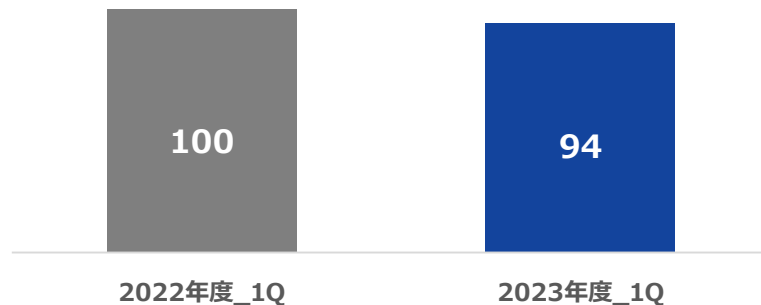
中国大陸事業計：94%(現地通貨ベース)



## ■ 商品別の売上高伸長率

	前年比	売上高 構成比
衛生陶器	97%	44%
温水洗浄便座 「ウォシュレット」	93%	26%
水栓金具	91%	25%

## ■ ウォシュレットの販売台数伸長（指数）



2023年度\_2Q（2023年\_4月～6月） 前年比：185

不動産市況低迷影響で、主力商品売上高は前年を下回った。

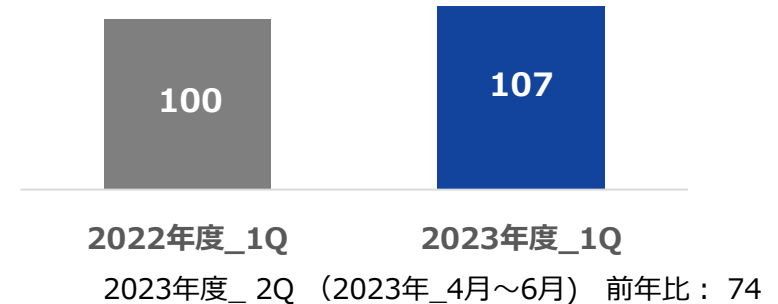
台湾地域		単位：百万台湾ドル	
台湾地域	2022年度 1Q	2023年度 1Q	前年差 (前年比)
売上高	1,126	1,127	+1 (100%)
営業利益	315	131	▲184 (42%)
営業利益率	28%	12%	▲16pt

2023年度\_2Q (2023年\_4月~6月)の売上高伸長率 前年比 92%

ベトナム		単位：10億ドン	
ベトナム	2022年度 1Q	2023年度 1Q	前年差 (前年比)
売上高	946	720	▲227 (76%)
(内数) 外部顧客売上高	249	205	▲43 (83%)
営業利益	12	▲97	▲109
営業利益率	1%	—	—

2023年度\_2Q(2023年\_4月~6月) 外部顧客売上高伸長率 前年比 115%

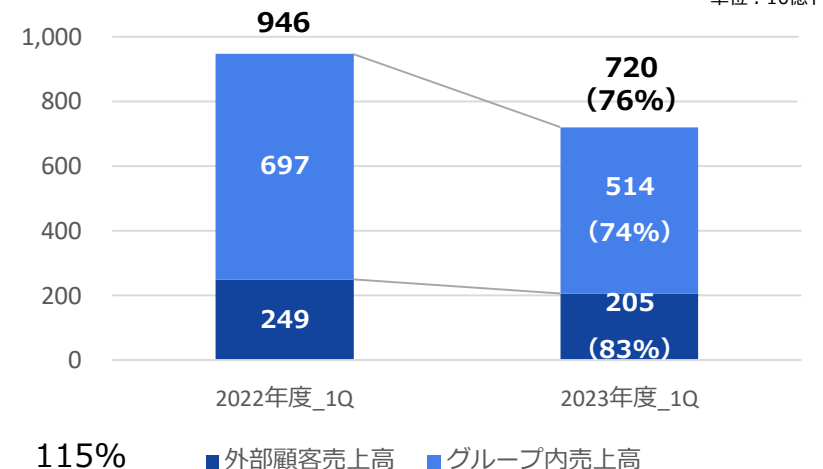
## ■ウォシュレットの販売台数伸長



## ■ベトナム売上高内訳

※ ( ) 内は対前年伸長率

単位：10億ドン



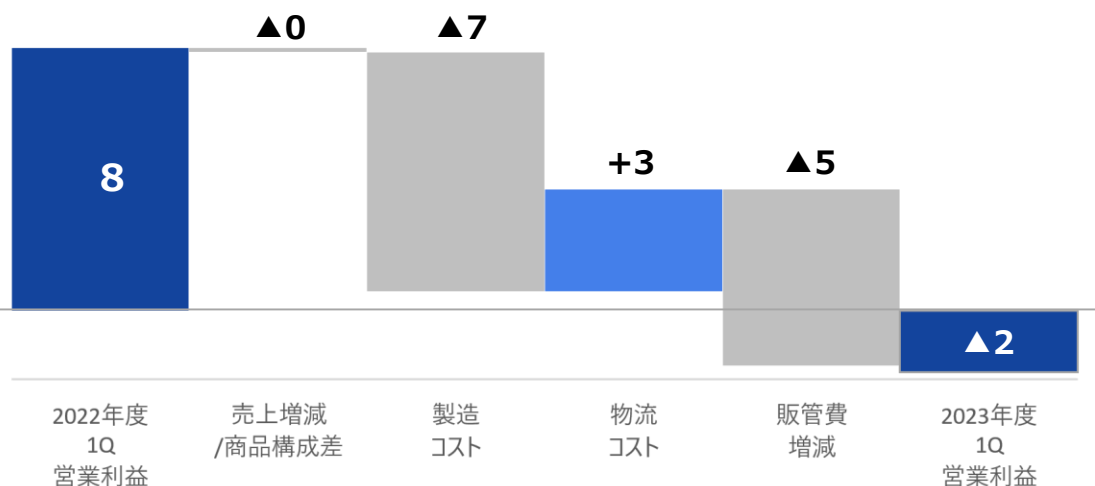
台湾地域は、売上高は前年並みも、外部調達コストの影響で減益。  
ベトナムは、市況悪化および減産影響等により減収赤字。

■ P / L ※連結調整、共通費の配賦等は含まないベース

	2022年度 1Q	2023年度 1Q	前年差 (前年比)
売上高	106	99	▲8 (93%)
営業利益	8	▲2	▲9
営業利益率	7%	-	-

2023年度\_2Q(2023年\_4月~6月)の売上高伸長率：前年比 93%

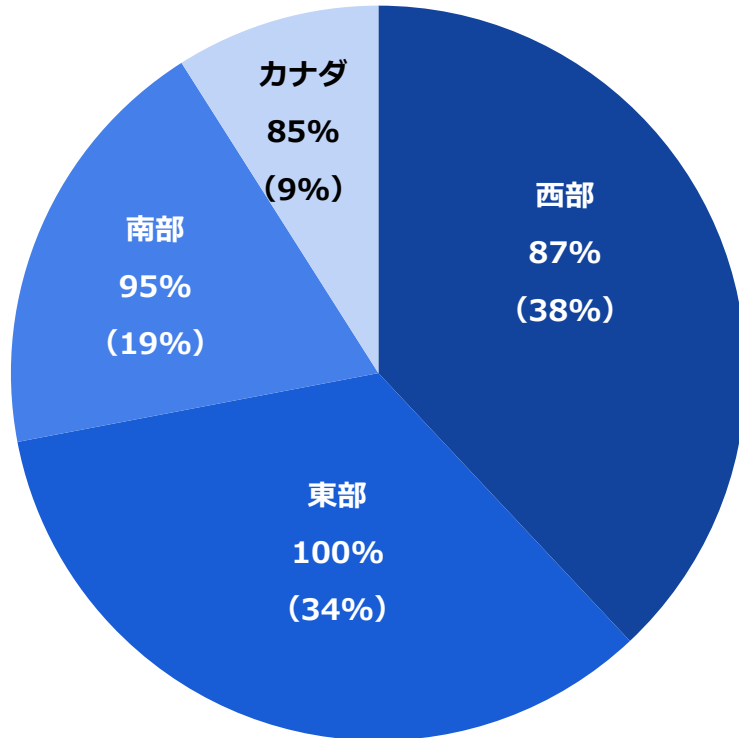
■ 営業利益の増減要因



市況低迷影響で減収、物流コストは良化したものの、減産影響等で赤字。

## ■ 地域別の売上高伸長率（構成比）

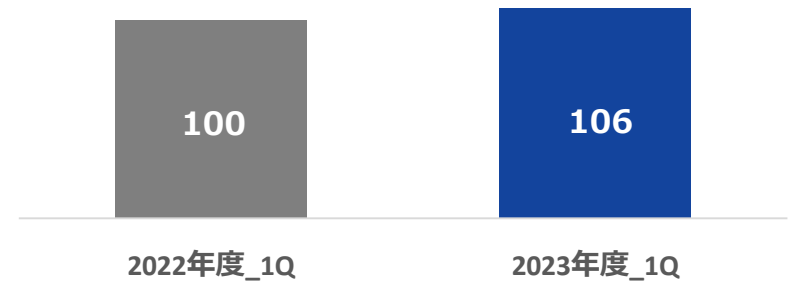
米州事業計：93%(現地通貨ベース)



## ■ 商品別の売上高伸長率

	前年比	売上高 構成比
衛生陶器	89%	50%
温水洗浄便座 「ウォシュレット」	95%	33%
水栓金具	100%	10%

## ■ ウォシュレットの販売台数伸長（指数）



2023年度\_2Q（2023年\_4月～6月） 前年比：111

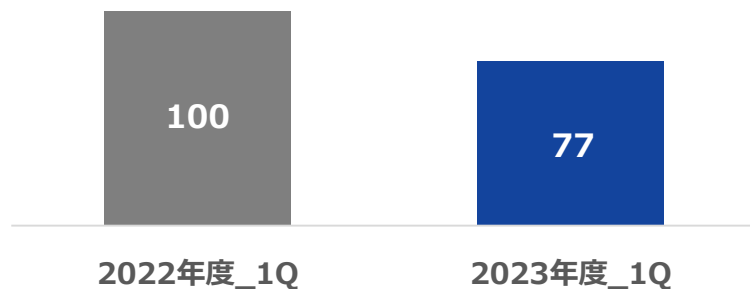
市況低迷影響を受ける中、ウォシュレットの販売台数は継続的に伸長。

■ P / L ※連結調整、共通費の配賦等は含まないベース

	2022年度 1Q	2023年度 1Q	前年差 (前年比)
売上高	12	10	▲2 (86%)
営業利益	▲0	▲1	▲1

2023年度\_2Q(2023年\_4月~6月)の売上高伸長率：前年比 82%

■ ウォシュレットの販売台数伸長（指数）



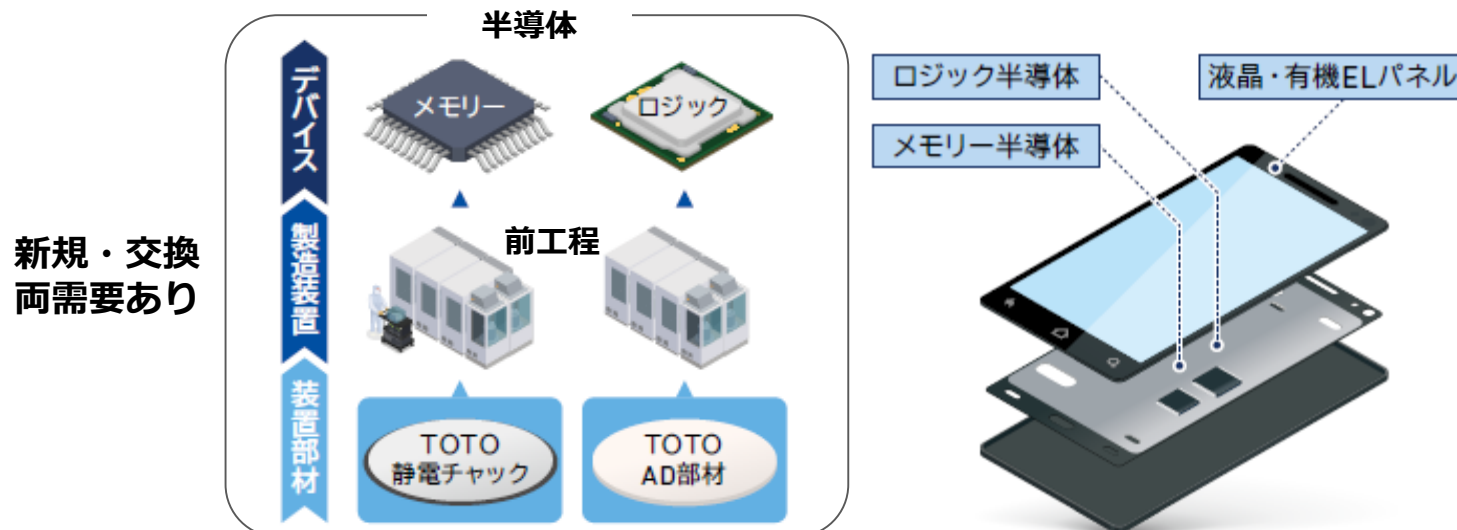
2023年度\_2Q (2023年\_4月~6月) 前年比：82

**販売網の拡充と著名物件採用を推進するも  
ドイツにおける国策影響（暖房工事補助政策）を受け減収赤字。**



	2022年度 1Q	2023年度 1Q	前年差 (前年比)	為替影響額	為替影響除 前年差 (前年比)
売上高	111	94	▲17 (85%)	+6	▲23 (79%)
営業利益	49	26	▲23 (54%)	▲0	▲23 (54%)
営業利益率	44%	28%	▲16pt		

## <主力商品概要（静電チャック・AD部材）>



新規・交換  
両需要あり

※詳細はTOTOの統合報告書をご参照下さい。 <https://jp.toto.com/company/profile/library>

高効率の生産体制により、一定の利益水準は維持したものの、  
半導体市況低迷の影響で減収減益。

トピックス

# 社外からの評価：ESG投資インデックスへの選定

## ■ FTSE4Good Index Series



8年連続

FTSE4Good

## ■ MSCI ESG Leaders Indexes

16年連続



2023 MSCI ESG Leaders  
Indexes Constituent

THE INCLUSION OF TOTO LTD. IN ANY MSCI INDEX, AND THE USE OF MSCI LOGOS, TRADEMARKS, SERVICE MARKS OR INDEX NAMES HEREIN, DO NOT CONSTITUTE A SPONSORSHIP, ENDORSEMENT OR PROMOTION OF TOTO LTD. BY MSCI OR ANY OF ITS AFFILIATES.  
THE MSCI INDEXES ARE THE EXCLUSIVE PROPERTY OF MSCI. MSCI AND THE MSCI INDEX NAMES AND LOGOS ARE TRADEMARKS OR SERVICE MARKS OF MSCI OR ITS AFFILIATES.

## ■ GPIFが採用している6つのESG投資インデックス

- FTSE Blossom Japan Index
- FTSE Blossom Japan Sector Relative Index
- MSCIジャパンESGセレクト・リーダーズ指数
- MSCI日本株女性活躍指数
- S&P/JPX カーボン・エフィシエント指数
- Morningstar Japan ex-REIT Gender Diversity Tilt Index

事業を通して環境・社会課題の解決及び経済的成長を実現するとともに、  
国連の「持続可能な開発目標（SDGs）」にも貢献していく。

# 社外からの評価：GREEN GOOD DESIGN AWARDS

ウォシュレット一体形便器（ネオレストNX/LS/AS/RS、WASHLET G5）  
ハンドドライヤー（クリーンドライ 吸引・高速両面タイプ）が受賞



ウォシュレット一体形便器（ネオレストNX/LS/AS/RS）  
発売地域：日本、中国大陸、米州等



WASHLET G5  
発売地域：中国大陸



ハンドドライヤー  
「クリーンドライ  
吸引・高速両面タイプ」  
発売地域：日本



引き続きデザインとテクノロジーの融合を追求し、  
「持続可能な社会」「きれいで快適・健康な暮らし」の実現に貢献していく。

このプレゼンテーション資料は、2023年7月31日現在の将来に関する前提・見通し・計画に基づく予測が含まれています。世界経済・競合状況・為替の変動等にかかわるリスクや不確定要因により実際の業績が記載の予測と大幅に異なる可能性があります。

あしたを、ちがう「まいにち」に。

**TOTO**